

# まちかど 特派員のページ



こうかまちかど特派員  
よしだ なつき  
吉田 奈津希

お茶所土山町の大野小学校で3、5年生を対象に「お茶の淹れ方教室」が開かれました。3年生の授業では、3種類のお茶（玄米茶、ほうじ茶、煎茶）の飲み比べが行われました。児童たちは、日頃からほうじ茶をよく飲んでいいるそうですが、緑茶はお客さんが来た時に出すお茶という印象があるそうです。緑茶は、あまり飲まないとい

## お茶の良さを知る授業 『お茶の淹れ方教室』

お茶の淹れ方教室を紹介します。今回は、子どもたちにお茶の魅力伝えるお茶の淹れ方教室を紹介します。

## お茶の成分で、さまざまな予防効果

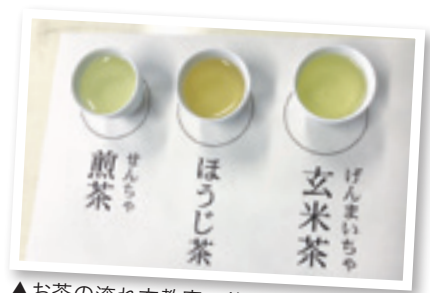
市内では、5月のGW頃から新茶の季節になり、あちらこちらのお茶工場から新茶のいい香りがしてきます。お茶にはビタミンCやカフェイン、カテキンなどが含まれ、インフルエンザ予防、虫歯予防にも効果があるといわれています。

## 子どもたちにも知ってほしい 『お茶の良さ』



▲最後の一滴まで注がれるお茶を見る児童

言っていました。飲み比べてみると「緑茶が一番おいしい」という声があがっていました。5年生の授業では、自分たちで急須からお茶を淹れる勉強が行われました。講師の方の説明をよく聞いて、急須に茶葉を入れ、低めの温度で淹れたお茶を最後の一滴まで残さず湯のみに注ぎます。低温で淹れたお茶には甘みがあり、とてもおいしいお茶を淹れることができました。



▲お茶の淹れ方教室で飲み比べられた3種類のお茶



私の家もお茶農家です。夫婦でこだわりのおいしいお茶を作っています。最近の家庭では、急須でお茶を飲む機会も減ってきていますが、寒い冬には急須で温かいお茶を、夏には水出し緑茶を、といったように季節に合った飲み方でぜひお茶を楽しんで飲んでみてください。消費者の皆さんに「おいしい」と言ってもらえることが、私たち生産者にとってもうれしい言葉です。

## 『おいしい』が最高の言葉

子どもたちも「お茶は『苦い』から『おいしい』に変わった」とうれしそうに話してくれました。大野小学校では5月にお茶摘み体験、冬はお茶うがいをするなど、普段からお茶は身近にあります。今回の授業を通して、より一層お茶の良さを知ってもらえたのではないかと思います。

◀県下最大級の土山町の頓宮大茶園

# 甲賀市地域おこし協力隊の活動報告会を開催

～移住者から見たこのまちの可能性～

## \*移住者と共 まちの未来を 考える

地域おこし協力隊とは、都市部から中山間地域などに移住し、地域活性化や定住をめざして、住民と共に地域課題の解決に取り組むため、市から委嘱を受けた方々です。移住者である隊員から見た甲賀市の魅力や可能性を知っていただき、地域の元気を取り戻すため一人ひとりができることを一緒に考えてみませんか。

**日時** 4月27日(金)  
19時～20時45分  
(18時30分受付開始)

**場所** 市役所別館  
会議室101

**申込方法** 電話・FAX・メールで  
下記まで

**申込締切** 4月23日(月)

**参加費不要**

## 甲賀市の地域おこし協力隊を紹介します

### ◎ 合田大智

隊員歴：2年10カ月



**活動地域**：土山町 山内地域  
**活動内容**：養蜂、狩猟、ものづくりを中心に活動中。下の写真は自ら捕らえたシカの角を使ったカトラリー。任期後の生業づくりに向けて悪戦苦闘中。



### ◎ 田中啓介

隊員歴：2年3カ月



**活動地域**：甲南町 宮地域  
**活動内容**：昨年までに植物油とハチミツを商品化。独自の視点から地域を觀察し、田舎に存在する資源を活用し起業するべく日々活動中。卒業まで9ヶ月、間に合うか!?



### ◎ 上原勇氣

隊員歴：2年



**活動地域**：信楽地域  
**活動内容**：信楽焼、朝宮茶、お酒等の特産品の広報活動に従事する他、焼き物作りの楽しさを広めるワークショップを開催。



### ◎ 横山絵理

隊員歴：2年



**活動地域**：信楽地域  
**活動内容**：まちづくりの拠点としてリノベーションされた貸しスペース「FUJIKI」を拠点に、地域の情報魅力を発信中!

